

校長から有明中学校の先生方へ

◇育ボス・介ボス宣言

先生方のご家族の育児や介護等に対して、また、先生方ご自身のお悩み等に対して全面的に支援・協力します。遠慮なくご相談ください。

◇学校改革の推進

先生方の多忙を軽減し健康維持に留意するとともに、生徒と向き合う時間を確保して、より教育効果を高めるための学校改革を進めます。(校務改革・授業改革等)
(昨年度の取組)

- 先生方自身がリフレッシュするための年休取得の推進 (リボーン年休)
- 学期末、学年末における事務処理週間の設定 (部活なし)
- 週1回のノー部活動デー・定時退勤日 (水曜日) の設定 等

◇私の思い

1 「教育は人なり」

教育は人間によって行われます。どんなに時代が変わり技術が発達しても、子どもを豊かに育て能力を引き出すことができるのは教師という人間にかかっています。簡単にいうと「教育は教師次第」ということであり、教育の質は、教師の質で決まるということです。

先生方には、

「子どもたちの記憶の中にいつまでも残る教師に」

「子どもたちの生き方に影響を与える教師に」

なっていたきたいと思います。

2 私たちの仕事は、「人づくり」であることを忘れてはいけません。

「人づくり」は「くにづくり」につながる大いなる仕事です。

そこで、先生方には、保護者、有明地区住民の思いを重く受け止め、その負託に応えるべく、日々精進していただきたいと思います。

3 学校の使命 (ミッション) は、

「子どもたちによい習慣をつけてあげること」

*よい学習習慣、生活習慣、読書習慣、運動習慣等

習慣づけを行うためには、毎日、毎日の繰り返しによって行動の定着を図り、卒業してもその行動を継続できるようにすることが必要です。

4 職員・生徒一丸 (有中一丸) となり「天草一の学校」を目指しましょう。

(天草一とは、ナンバーワンはもちろん、オンリーワンもです。)

※天草一へは、具体的事項の一つ一つで目指します。

(例) あいさつの質・各種学力検査等・読書量・学習態度・生活態度・その他諸々

5 職員、生徒のがんばりを積極的に保護者・地域にアピールします。

・本校ホームページの毎日更新 (校長担当)

(今年度末閲覧数2万を目指します。現在約12,400)

・一斉メールシステムへの100%登録及び活用

・各種たよりの定期発行

学校だより、保健だより (月1回)

学級だより (週1回)

6 「凡事徹底」(株イエローハット 相談役 鍵山 秀三郎氏)

凡事を徹底できないものが、大事を成せるわけがない。

小さな事の徹底は、実は大きな事の達成につながっている。

(例)

報告・連絡・相談、出勤簿の押印、タイムカード、名札の着用、机上の整理、週案記入、時間を守る、期限を守る、電話の受け応え、めあてとまとめの板書、戸締まり、学習訓練、えんぴつの持ち方指導、箸の持ち方指導 等

＊電話の受け応え

- ケース１：「はい、有明中学校の〇〇です。」（本校の第一印象が決まる）
ケース２：〇〇先生をお願いします。→〇〇先生が授業などで近くにいない時、相手が緊急の用件でなければ、折り返し電話をさせる旨伝える。（不在のみ伝えて、相手に何度も電話をさせることはしない。不親切）
ケース３：業務以外の業者からの勧誘の場合→本人以外が電話を受けた場合、本校は勤務時間中は、とりつがないことになっている旨伝える。本人が受けた場合、必要でなければきっぱり断る。

※凡事徹底チェック表（校長担当）

特に、「人権意識」と「服務」については、各月末毎に、チェック表で各人に振り返り（４段階自己評価）をしていただき意識の低下を防ぎます。

7 脱前年度踏襲（より高く）

私は、優れた取組、効果のあった取組は、どんどん継続したいと思います。しかし、前年度と全く同じでは停滞します。質、レベル、バージョン等をあげて取り組みましょう。

8 教職員の不祥事は、有明中からは絶対に出さない。

信頼は、構築するのに何年もかかりますが、失うのは、一瞬です。

- ・体罰禁止（正当防衛以外の有形力の行使は体罰です。）
- ・飲酒運転の防止（有明中学校職員共通実践事項、宣言書の徹底）
- ・公金の適正な取り扱い（公金管理マニュアルの徹底）
- ・情報漏洩の防止（情報セキュリティマニュアルの徹底）
- ・SNSの生徒、保護者等との個人的なやりとりの禁止

9 学習指導要領対応

学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動を展開し、これからの時代に対応できる子どもを育成しなければなりません。

- ・思考力、判断力、表現力の育成
- ・グローバル化への対応
- ・情報化への対応
- ・特別の教科「道徳」（道徳科）の実施 等

10 校内研修の充実

教職員の指導力の向上とそれに基づいた生徒の学力充実を目指し、校内研修を充実させます。

- ※ 「主体的・対話的で深い学び」の創造に向けた取組を
- ※ 指導者全員による大研及びその後の小研の実施（複数回の検証授業の実施）

11 部活動について

「天草市中学校における部活動の方針」等に即して実施する。

- ※ 勝つこと、自己ベストを出すこと等を目標に、努力を積み重ねることは部活動なら当然のことであるが、勝利至上主義は厳に慎み、子どもの実態や環境に応じた効果的な指導に配慮していただきたい。
- ※ 時間を有効に使い、効果的な指導を。また、終了時間の厳守に心がける。事故防止のために、必ず、指導者が付いて活動させること。

◇課題解決に向けて（生徒の課題は教師の課題）

●学力充実

- ・標準学力検査でのアンダーアチバー（－４以下）の割合は低い。
（H30学校経営案P14参照 24.8% 25人／101人）
- ※アンダーアチバーの存在は、子どもたちの知能に見合う学力を我々が引き出せていないということ。
→アンダーアチバーの割合を減らす。
- ・全国学力学習状況調査→全国平均を上回る。
- ・県学力調査における定着率が県平均を下回るものが存在する。
→県平均を下回る数を減らす。
（H30学校経営案P26～35参照）

●豊かな心

- ・生徒指導テーマ「時を守り、場を清め、礼を正す」
- ・重点指導目標「あ（3つのあ：安全、あいさつ、あとしまつ）・そ（無言掃除、そろえる実践）・ふ（正しい服装）・じ（時間厳守）」の徹底

安全・・・・・・・・安全な自転車の乗り方

（飛び出し、並進、無灯火、ノーヘル等の禁止）

そろえる実践・・・トイレのスリッパ、傘立ての傘、ぞうきんがけのぞうきん、自転車小屋の自転車等

- ・生徒の「読書習慣の確立」に向けた支援を
→読書冊数1人40冊以上

- ・人権意識を高くもつ

体罰の禁止

丁寧な言葉遣い

生徒をけなす言葉は遣わない。

（生徒や保護者に対してだけでなく、職員間の会話の中でも）

生徒を呼び捨てにしない。（「さん」「くん」を付けて名前を呼ぶ。）

（生徒や保護者に対してだけでなく、職員間の会話の中でも）

（生徒間においても「さん」「くん」を付けて呼ぶよう指導を）

- ・いじめ・不登校対策の充実

子どもの居場所づくり推進テーブルの活用

愛の1・2・3プラスワン運動の徹底（不登校未然防止策）

欠席1日目 学級担任から家庭への電話連絡による状況把握等

2日目 学級担任の家庭訪問による状況把握等

3日目 学校として、組織で対応

プラスワン 必要に応じて、専門機関につなぐ。

アンケート・教育相談及び日常の看取りの充実

※新たな不登校を出さない。

●天草教育事務所学校訪問（総合訪問）への準備

◇最後に、

◆私の信条

「プラス思考」「なにくそ魂」

◆私の座右の銘

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も

成らぬは人の為さぬなりけり（上杉鷹山）」

上杉鷹山：米沢藩主、故ケネディー米大統領が、最も尊敬する日本の政治家として挙げた人物

上杉鷹山をまだご存じない方は、ぜひ書籍を読んでください。感動します。

※このペーパーは、先生方が日頃から、意識して実践していただくよう、いつも見えるところに。